

# 学校評価アンケート結果報告

平成 26 年 2 月  
大阪高等学校

本学では、より豊かな学園づくりを目指して改革を続けています。建学の精神である「全人教育」をもとに、教育の環境整備と質的向上を図り、教育目標の達成を目指した様々な取り組みを重ねてまいりました。その成果を確認し、更なる改善に向けた課題形成を行うため、昨年に引き続き学校評価アンケートにご協力いただきました。集計結果に分析を加え、学校改革・教育改善の進行状況をお伝えすべく本書面をまとめました。何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

学校長 岩本 信久

## 凡例と集計方法について

凡例: ■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

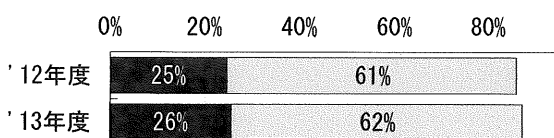
集計結果は、特に断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。合計の不一致は、四捨五入のためです。今後も引き続き、保護者の皆様に十分なご判断をいただけるよう情報発信の充実<sup>1</sup>に努めてまいります。

本校では、「人格の完成」を教育目標とし、生徒一人ひとりが「正しい生活習慣」「将来と結びつけた行動選択」「共生の資質」「自律的な学び」を獲得できることを教育活動の重点項目として位置づけています。本アンケートでは、20 の質問を通じ、如上の重点項目の達成状況を、生徒、保護者、教員それぞれの視点で評価するとともに、各々を達成するための具体的施策たる教育活動や取り組みが十分に機能して所期の目的を果たしているかどうかを点検いたします。また、生徒、保護者の衷心にあるものを明らかにすることで、今後の改善資源の最適な配分を探りたいと思います。

## 高評価の重要項目

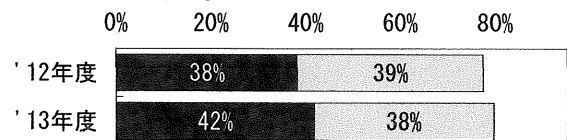
教育課程、部活動、学校行事が評価を高めています。また、積極的肯定率も増えています。極端な評価の上げ下げはありませんが、日々コツコツと取り組んだ努力を評価いただけたものと拝察します。今後も更なる改善のために、努力してまいります所存です。

Q 様々な進路希望に対応できるよう、教育課程（選択科目など）や教材は適切に整備されていると思われませんか。



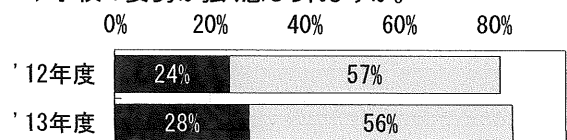
肯定的な回答は 3 年連続で増加しており、今回も 9 割に迫る評価でした。変化のやまない大学進学のためのカリキュラムはもちろん、学習宿泊や資格試験、異文化交流研修など生徒の進路希望を踏まえて多角的に設けた「学びのカリキュラム」にご理解いただいていると自負しております。更なる改善をしていくとともに、その充実した内容をよりご理解いただくための努力も合わせて今後の課題にしたいと考えております。

Q 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われませんか。



留保回答の「わからない」を除いたこの集計では、今回肯定回答率が 8 割に達しました。ただし、この質問は択一式 15 問中、もっとも留保回答が多くなりました。部活動は、以下に述べます学校行事とともに、リーダーシップの涵養や協調性・社会性を育む大切な活動です。ホームページ等を通じて、より詳細な活動状況を説明していく所存です。

Q 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。



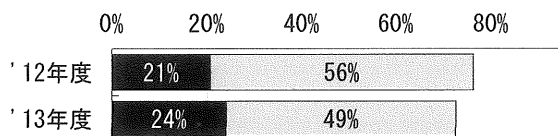
積極的肯定である「そう思う」が 4 ポイント上がり、高評価でした一昨年と並ぶ好結果で、肯定回答率全体では 2 ポイント今年の方が勝っています。「人格の完成」のためには、学習指導と合わせて部活動や学校行事から多くを学べることは前述したとおりです。本学が特に力を入れている項目ですので、これからも期待に応えられるよう力を尽くしてまいりますので、保護者の

<sup>1</sup> 回答留保は、また回を追うごとにほぼ全ての項目で減少しています。引き続き、情報発信を徹底し余さずご判断を頂けるようにいたします。

方々の応援もよろしくお願いいたします。

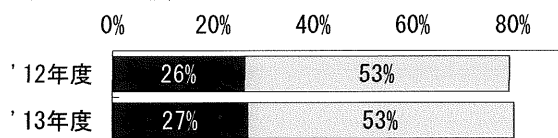
## 来期に向けた重点課題

Q 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われますか。



この質問項目は実は前回に較べて肯定率を最も下げた項目です。ところが、積極的肯定率（そう思う）だけを見ると、過去最高の回答率になっています。ご理解いただくための努力不足と手段の適正性に問題があると考えます。また、各学年をクラスごとに見ていきますと、図抜けて高い評価を得ているクラスがありますので、その取り組みを検証し、他のクラスへと普及するよう心がけたいと思います。学習指導は教育の要ですので、はっきりとした成果をご覧いただけるよう今後も努力と工夫をしていく所存です。

Q 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われますか。

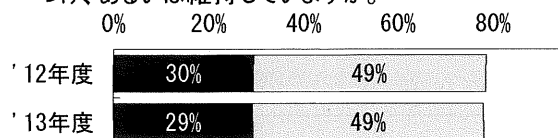


3年生の保護者の方からの評価は大幅に上がりましたが、1年生・2年生の保護者の方からは厳しい評価をいただきました。進路に対する意識は、1年生から芽生えさせる必要があることを改めて認識いたしました。3カ年を見据えた進路指導設計を再度点検し、比較的高い評価をいただいた3年生に準じる手法を1年生・2年生にも取り入れ実施するとともに、具体的な指導の詳細をお知らせすることを心がけたいと思います。

## 教育目標の達成に向けて

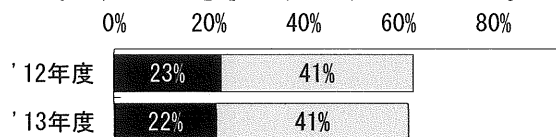
4つの観点から見た教育目標についての結果は、やや低調でした。少しずつ順調に伸びてきていただけない、残念ですが、その安心が油断となったように思われます。今後は気を引き締めてまいりる所存です。

Q 保護者の目から見てお子様は、正しい生活習慣を身につけ、あるいは維持していますか。



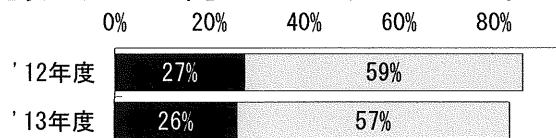
積極的肯定率が微減しています。規則正しい生活は、学業をはじめとしてすべての土台となるものです。微減といえども蟻の一穴のたとえもありますので、気を抜かず、きちんとした指導を一貫させたいと考えます。前回と比較すると、2年生が低調でした。1年生からの悪い習慣が抜け切れていないことも考えられます。学年指導に加え、クラス単位で生活の実態を十分把握するようにし、指導に活かしていきたいと思えます。

Q 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。



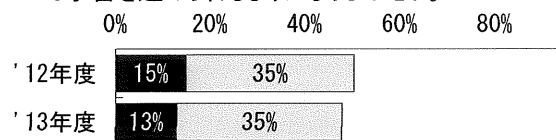
この質問項目につきましても、積極的肯定率の微減が見られます。データの解釈では、昨年並みと言えますが、全体的な肯定率も少ないため、ここでもまた進路への意識を1年生から持たせる必要性を強く感じました。対策としては、(1)進路への意識を向けさせる頻度を増やすこと、(2)進路調査をすることで志望の固定をするのではなく、興味や可能性を広げる進路形成を働きかけることの2点を中心に推進してまいります。

Q 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。



順調に伸びてきたこの項目でしたが、今回は肯定率が下がりました。「共生への資質獲得」の一部をなすものとして注力してまいりましたが、昨年大きく改善しました1年生・2年生での評価が、今年は芳しくありません。もう一度初心に帰って、気を引き締めて指導にあたる所存です。部活動や学校行事を通じての生徒同士の相互理解や、担任をはじめとする教員とのコミュニケーションを適切に行える力を養成していきたいと考えます。

Q 保護者の目から見てお子様は、自分で立てた計画に沿って学習を進められるようになりましたか。



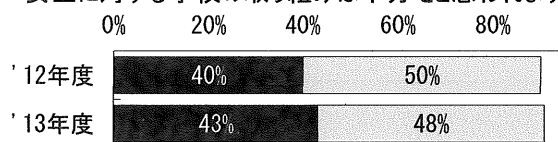
この項目も肯定率が下がってしまいました。昨年同

様、1年生・2年生ともに「そう思わない」が「そう思う」を超えています。すぐれた資質を持つわが校の生徒ですが、全員が一緒に自律的に学習できるようになるのは、まだ時間がかかりそうです。取り組みとしましては、自主的に学習するようにするためには、目的意識を持たせて学習をさせなければなりません。先の質問項目にありましたように1年生から進路意識を促す取り組みとこの自律的に学習できるようにする取り組みの両輪で進めていかなければ、難しいと考えます。今後の改善の取り組みにご期待ください。

## 学校との連携について

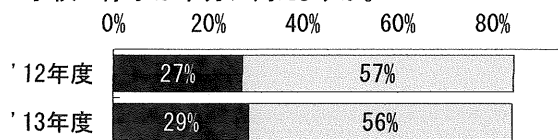
学校からの情報発信、保護者・地域からの声への対応、安全への取り組みについては、昨年度同様、高い評価を頂戴いたしました。

Q 登校・下校時指導や緊急時メール連絡網など、生徒の安全に対する学校の取り組みは十分だと思われませんか。



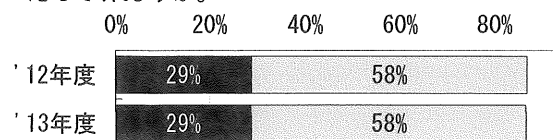
年を追うごとに評価が高まっています。昨年からの肯定率が9割を超えており、本学の取り組みにご理解いただいているようです。安全への配慮は、最優先項目ですので、生徒とコミュニケーションを密にとり、今後も気を抜くことなく、危機管理に十分に留意してまいります。また、新たに生じる可能性のある様々なリスクについても、学校を挙げて迅速に対応していく所存です。

Q 学校からの連絡文書や懇談会・授業公開などを通じて学校の様子は十分に伺えますか。



積極的肯定率が27%から29%とさらに2ポイント増えました。大きな変化はありませんが、今後も「どちらかといえば」の解消に努めるよう、書面での詳細な連絡に加え、直接学校へお越しいただき、本学の取り組み等を実感していただきたいと思っております。

Q 学校は、保護者や地域の要望・意見に対して誠実に対応してくれますか。



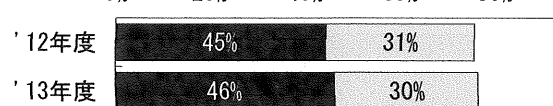
前回との変化はありませんでした。今後とも、教員間で差異のない公平・誠実な対応に一層近づくよう努力を継続していく所存です。

## ご家庭との連携について

教育をより一層充実させるためには、ご家庭と学校との連携が欠かせないと考えます。PTA組織である育友会を設置しているのもその理念の現れです。

Q 進路希望や将来の職業、あるいは学校での様子などについて、家庭で話すことはありますか。

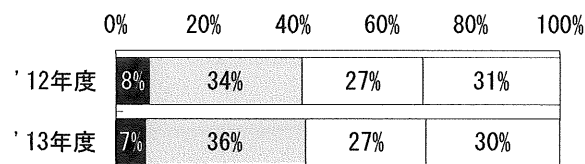
- 話をする機会がよくあり、保護者も関心をもって会話に臨んでいる
- 話をする機会はあるが、あまり突っ込んだ話にはならない



この項目は、ほとんど変化は見られませんでした。学校としましては、さらに家庭での対話のきっかけとなるような話題、話し合いの土台を作る情報などの提供と発信を工夫してまいりたいと存じます。また、担任との面談などを通して、学校での対話の機会を増やし、進路や将来のことについて早くから意識させることも合わせて行っていきたいと考えております。

Q 育友会(大阪高校保護者と教職員の会)の活動に関心を持っていますか。

- たいへんに関心があり、内容も分かっている
- 関心はあるが、内容についてはよくわからないことが多い
- あまり関心はないが、活動の内容はある程度知っている
- あまり関心はないし、活動の内容もよく知らない

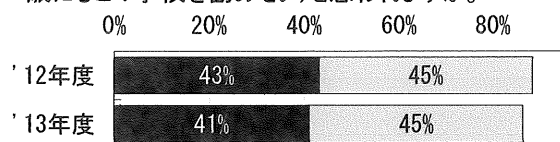


ほぼ前回並みの結果でした。保護者と教職員のコミュニケーションを密にしてこそ、生徒を取り巻く環境をよくしていくことになるように思われます。引き続き関心の集まる活動とその周知を目指してまいります。

## 総合評価について

本学の教育活動全般に関する総合的な満足度を直接問う項目です。「入学させてよかったと思うか」という質問を指標とし、保護者の方の本音を毎回お尋ねしております。

Q お子様を大阪高校へ入学させてよかった(知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい)と思われますか。



肯定的な回答が占める割合は、まだ86%と高い数値ではありますが、3年生以外は前回より評価が下がりました。積極的肯定率(そう思う)では、1年生がクラスにより、バラツキが目立ちます。

3年間に在籍した3年生の保護者の方には9割の高評価をいただけただけということは、1年生・2年生の保護者に対して個々の教育活動の成果をお伝え切れていないということにほかなりません。各々の改善への取り組みに努めるとともに、それらの成果につきましてもしっかりとお伝えする広報活動の面でもさらなる努力を進めてまいります所存です。

これまでも申し述べてきましたが、本学ではこの質問項目を最も重要視しております。時間を割いてご回答いただきましたこのアンケートの結果を踏まえ、さらに今後も、社会の動向に眼を配り、地域の声に耳を傾けるなかで、教育目標の更新と定立に当たり、その目標の実現に全力を挙げて取り組むこととお約束いたします。

## 複数選択におけるご回答

Q 保護者会やクラス懇談会で取り上げてほしいこと、充実に望むことは何ですか。

「進路や入試に関する情報」が引き続き圧倒的に多く選ばれております。続いて「子供への接し方や行動観察の方法」が選ばれ、前回もお伝えしたとおり、この2つは教員対象のアンケートでも、伝達に注力すべき事柄の上位を占めております。この点では、保護者と教員との意識は一致していますが、“教育活動の実態報告”と“生活の習慣作りに向けた保護者からの働きかけ”については、教員側の伝えたいという思いが強く、保護者との間で意識の乖離が生じています。これまでも解消に努めてまいりましたが、事前に意見をお聞きするなどニーズに合った努力をしていく所存です。

Q お子様は意欲や学校に進んで通う姿勢を示していますか、その対象を2つ選んでご回答ください。

今回は「進路目標実現の接近」および「学校行事」が割合を増やしているのが特徴的で、「クラスでの友人とのふれあい」と「クラブ活動」が最上位を占めたことは、例年と変わりはありません。

意欲的に取り組める対象を持つことは、いいことですが、入学後の早い時期から将来を見据えた目的を持たせる指導と、その実現のために学校が支援していくよう全力を投じます。

Q 今後、子どもに獲得させたい資質はどれですか。

保護者の方の順位は「将来を切り開いていく力」(59%)、「自主自立の姿勢」(53%)、「学力・知力」(47%)、「協調性・社会性」(42%)でした。前回とさほど変化はなく、順序に多少の変化はありますが、教員の意見ともほぼ一致しております。ご希望に応えられますよう一層の努力をしてまいります所存です。

Q 今後、学校に更なる充実を求めたいものは何ですか。

「進路指導や就職支援」(73%)と「学習指導や学力向上」(72%)の2つが飛び抜けて高い選択率であることに変わりはありません。保護者の方の強いご要望に応えられるよう本学としましては、より資源を集中的に配分してまいります。

Q 本校の特徴としてどれが当てはまりますか。

今回も選択が多かったのは、「子どもたちがいきいきと学習や部活に励んでいる学校」と「一人ひとりを大切にしてくれる学校」でした。本学の良さを象徴している表現であり、また多くの生徒たちに選んでいただける校風ともとれます。今ある利点を活かし、改めるべきところを改めて、今後ますます愛される学校づくりに力を注いでまいりたいと存じます。

---

**大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。**

---

お忙しい中、アンケートにお協力いただきまして、誠にありがとうございました。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。  
TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719  
保護者による学校評価アンケート担当：副校長 岡本 進